



広島西ロータリークラブ会報

THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA WEST

No.
2182

例会日・木曜日 12:30~13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会長 森信 秀樹
幹事 謙訪 昭浩

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail : hwrc@godorc.gr.jp
作成・会報雑誌・広報委員会

広島西RC [検索]

RIテーマ Light Up Rotary

「ロータリーに輝きを」

本年度会長テーマ

「魄(かい)より始めよ ロータリー」

「新世代のための月間」

2014年9月4日 第2158回例会
9月第1例会

◆ 会長時間 ◆

森信会長



早いもので9月に入りました。先週はガバナー公式訪問でしたが、皆様にとっても、本年の運営などにおいて示唆に富んだお話をあったのではないかでしょうか。ガバナーからは当クラブは地区内ではナンバーワングループに属しているとお墨付きを頂きましたが、これも平素から会員一人一人のロータリーに対する深い理解と多方面にわたるこれまでの活動、会員一人一人のまじめに取り組む姿勢などを見られてのお言葉ではないかと思いました。

フォーラムで感想を求められた若手会員は「用語の意味などわからないことも多く、もっと勉強せねばと痛感した」と発言されていましたが、一方、地区補助金については地区とクラブの申請する現場との微妙な視点の違いが垣間見えたと感じられた方もおられました。

先日わがクラブの生みの親であります広島南クラブの方から、会長である私あてにメッセージを頂きました。ちょうどその内容が、これから少しロータリーについて勉強をしてみようと思われている方々へのアドバイスになるかと思いましたので、ここにご紹介させて頂きます。

ポールハリスのことば

(ロータリー創立29周年記念日に寄せたメッセージ)

ロータリーとは何であるか。それは何をする団体か?多くの国々のロータリアンは、此の問に対しで答えようとするが、どの人々の返事をとって見ても同じものはない。では何等共通な、一致した答はないのだろうか。いや、あるのだ。例えば大きなオルガンのごうごうと鳴る響か、又は遠い海なりの音の様なもので、ロータリーの多様な活動の底には善意、善意、善意と変ることなく響いている低音が聞えている。私の心から希望することは、人々の間に、そしてまた諸国民の間に絶え間なき善意の進展が行なわれることである。私はそれ以上高い希望を持たないし、それ以上のものがあるとも思はない。

9月は、新世代のための月間 (New Generations Month) です。

次回例会に鈴峯女子高校の西村校長はじめインタークトクラブの方がお見えになられますので、その際に少しロータリー情報をさせて頂きます。

本日は、NPO法人まなびやの眞田友恵様に卓話ををお願いしております。以上で会長時間を終わります。

●会務報告

諏訪(昭浩)幹事

※他クラブ例会臨時変更

9月22日(月) 広島東南RC 休会

9月22日(月) 広島廿日市RC 職場訪問例会

9月26日(金) 広島城南RC 休会

※8月28日例会の会報の誤りにつき、会報雑誌・広報委員会からもご報告がありますが、ガバナー公式訪問の際のフォーラムはクラブフォーラムではありません。正式には「ガバナー公式訪問フォーラム」と言い、ガバナーが主催して行うものです。クラブフォーラムとの区別についてご認識下さい。

※会員候補者を推薦されたい方は、必要書類を事務局からではなく必ず幹事から受け取って下さい。

●委員会報告

※プログラム・出席委員会

出席報告 荒川委員

本 日 (9月4日・木曜日)

会員数 74名 出席者 64名

欠席者 10名 ご来客 2名

ご来賓 2名 ゲスト 0名

計 68名

前々回 (8月21日・木曜日)

出席率 100%



※職業奉仕委員会

中山委員長

職場訪問例会のご案内

10月の職業奉仕月間に因んで下記の通り広島ダイヤモンドホテルに例会場を変更し、三菱重工業株広島製作所観音工場への職場訪問を開催いたします。

日 時 10月9日(木)

12:30 ダイヤモンドホテルにて例会・食事

13:00 理事挨拶・会社案内

13:35 バスでダイヤモンドホテル出発

13:40 観音工場到着 医療器具・コンプレッサ等製造部門見学

14:25 見学終了 観音工場出発

14:30 ダイヤモンドホテル到着 解散

※会報雑誌・広報委員会

梶委員長

1. 8月28日例会の会報でのフォーラム名称の記載については、幹事よりお話ししがあった

通りでございます。よろしくお願ひします。

2. ホームページに載せている動画につきましては、モバイル端末からでも再生しやすいよう対策中です。

8月21日の例会の動画で試行しますので、掲載されましたらご覧下さい。

●会員記念日

祝 9月お誕生日おめでとうございます。

(1名)

香川(基)君



●スマイルボックス SAA 刀禰委員

バイオレッツ監督 坂田君

(自主申告・金一封)

9月3日は「草野球の日」ということを、スマイル自主申告を促しに来られたSAA香川(浩)委員長から聞きました。バイオレッツが草野球チームと言いたいのでしょうか、レベルは確かにそうでしょうが、我々は社会人チームと同じく「クラブチーム」であると自負しています。ということで、バイオレッツから金一封を出宝させて頂きます。

●荒谷君（経済レポート9月4日号より）

荒谷建設コンサルタントは本社ビル向いにある第2別館を解体し、5階建て延べ2068平方メートルの新ビルを建設する。2015年6月15日の竣工を予定している。

益々のご発展を祈念しています。ご出宝ください。また、竣工のあつきには自主申告をお待ちしています。

●森信君、荒谷君、諏訪(昭浩)君、浜田君、加藤君、金本君、前橋君、吉田君、新本君、池田君、松田君、大植君

先週のガバナー公式訪問も無事終わり、正副会の皆さん一安心されたと思います。フォーラムでは活発な意見交換が行われました。質問された荒谷君、前橋君、金本君、新入会員として決意を述べられた、吉田君、新本君、池田君、松田君、ベテランにもかかわらず先輩として決意を述べられた大植君。ご活躍されたみなさんご出宝ください。

● 例会料理メニュー



■ 卓 話

特定非営利活動法人

まなびやの取り組み ～夢をカタチに～

地域活動支援センター
ワークきらぼし
眞田 友恵 氏



わが子眞田祐希は18歳男子です。自閉傾向を伴う重度の知的障害をもっています。未熟児でうまれましたが、すぐさま成長して体重もすぐに増え安心していました。しかし、視線が合わない、人の呼びかけに反応しない、首のすわりが遅い、いろいろな不安が出てきました。発達の遅れが顕著になり、2歳10か月のときに知的障害児通園施設「育成園」に入園しました。そのときに医師から障害があると宣告されました。自分がまさか障害児の親になるなんて想像していなかったので、正直ショックでしたが、双方の両親も悲しみにくれるというより、「みんなで祐希を支えていこう」と前向きに励ましてくれました。育成園では、子どもの思いに丁寧に寄り添う療育を通して、発達を促してくださいました。障害を「治す」つもりで通っていたのが、障害が「あっても」人として豊かに育つために療育があると学びました。保護者同士のつながりができたのもよかったです。一人では抱えきれないことも、みんなで分かちあえました。

育成園卒園後は、地域の小学校、中学校（いずれも特別支援学級）に進みました。小学校の入学

式では、緊張のあまり大声を出して走り回ってしまった祐希ですが、高学年になると落ち着きがでてきました。卒業式では、先生の介助なしで健常のお子さんと一緒に入場してきて、証書を受け取る姿に成長を感じ涙が止まりませんでした。中学校でも個性豊かなクラスメートに囲まれ楽しい時間を過ごしました。中学卒業後は広島市立広島特別支援学校高等部に入学して、現在3年生になりました。

高等部卒業後の進路のひとつとして、「学びの作業所」設立のために特定非営利活動法人 まなびや（以下まなびや）を立ち上げました。卒業後、もう少し学ぶ時間、期間がほしいと思ったからです。

まなびやの事業は次の3つがあります。

○まなびキャンパスひろしま（仮称）・・・障害者総合支援法の自立訓練事業。学びの作業所広島版の名称です。来年4月の開設に向けて準備を進めています。ゆっくりじっくり自分づくりをする場と位置づけて、社会生活に必要な力を養っていきます。

○ワークきらぼし・・・福祉作業所。10名の仲間たちと清掃などの軽作業や内職をがんばっています。人、地域とのつながり、ご縁を大切にして、仕事を発注してくださった方、紹介してくださった方に「きらぼしにお願いしてよかったです」と思っていただけるように心を込めて作業しています。

○相談ルーム はるにれ・・・療育センターの保育士を退職したスタッフ2名で運営しています。サービス等利用計画の作成、福祉サービスの利用援助、生活相談などを行っています。ライフサイクルを見通した計画を作成できるよう心がけています。

先日広島市北部を襲った未曾有の土砂災害の報道を目にするにつれ、亡くなられた方のご冥福をお祈りし、避難生活を余儀なくされている市民の方が早く元通りの生活に戻ることを願っています。東日本大震災のときもそうでしたが、災害、被災と聞けば、障害児者の暮らしに思いをはせずにはいられません。わが子のような自閉症の子どもたちには避難所生活は困難を伴います。身体の

不自由な方もそうです。いざというときの備えは待ったなしで、自分たちで考えていかないといけません。「何かをしてもらう」「してもらうのを待つ」ばかりではなく、必要な社会資源は必要だと思ったときに、行動に移して作り上げていく姿勢も大切ではないでしょうか。まなびやもそんな必要性、ニーズから生まれました。財政基盤が強くないなか、三つの事業を展開していくのは容易ではありませんが、障害児者の幸福が社会全体の幸福につながると信じて活動しています。まなびやの理念に賛同してくださる方々の輪を拡げていき、将来的には広島の障害福祉の拠点になりたいという夢を持っています。

このたびは当広島西ロータリークラブ社会・青少年奉仕部門理事の鯫島様にこのような機会をあたえていただき深く感謝しております。皆様におかれましても、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。ご清聴ありがとうございました。

--*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*

プロフィール

眞田 友 恵 (さなだともえ) 氏

北関東地方にて生まれ、広島にて育つ。

現在は広島市南区在住。

平成16年7月より、福祉作業所協働カンパニーステップに指導員として勤務ののち、現在は福祉作業所「ワークきらぼし」勤務。

虻 田 洋 子 (あぶたようこ) 氏

広島県北にて生まれて、すくすく成長。

昭和49年広島市職員として採用され、原保育園に保育士として配属。

その後、広島市内3か所の療育センターで働き、西部こども療育センター療育科長、なぎさ園園長をつとめ、今年3月に退職。現在は相談支援事業所 相談ルームはるにれ相談支援専門員。



虻田氏

眞田氏



卓話来賓のプロフィールを紹介する
鯫島社会・青少年奉仕委員長



卓話中の眞田友恵氏



卓話風景



森信会長より謝辞並びに御礼贈呈

● 卓話予告

日 時	テ　ー　マ
9／18(木)	社会・青少年奉仕部門 クラブフォーラム 「青少年サッカーの指導と教育」 県立安芸南高校サッカー部監督 畑 喜美夫 氏